

GPSナビキャスト(重量計付)



紹介動画はこちら

公道走行対応

これから かたち

次世代の散布 ～より精密な肥料散布へ～

散布機

スマート農業を支える高機能施肥機

- 重量計付
- GPS 車速連動
- 自動補正
- 可変施肥対応
- 経路誘導

【2スピナータイプ】

- 散布幅は、粒状肥料の場合 14・18・22m から選択でき、圃場条件に合わせた作業が可能です。
- 片側散布が可能です。



【スパウトタイプ】

- 左右に高速揺動するスパウトにより、肥料を均一に散布できます。
- 風の影響を受けにくく、安定した散布が可能です。



GPSナビキャスト(重量計付)

レシーバ付

レシーバ標準装備のため、現在ご使用のトラクターで使用可能です。

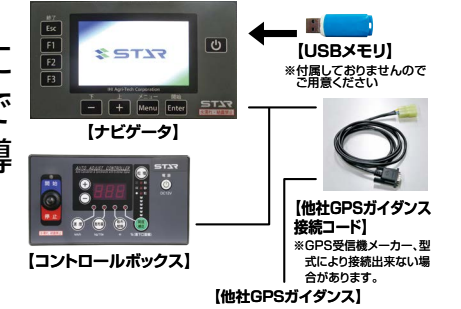
レシーバ付き(Nあり型式)



レシーバ無し

他社製GNSSに接続して使用でき、低コストで導入可能です。

レシーバ無し(N無し型式)



仕様

散布方式	型式		ホッパ規格		機体寸法 mm			重量 kg	装着方法	駆動方式	性能				適応トラクター kW(PS)
	GPSレシーバ付	GPSレシーバ無(*1)	最大積載容量 ℓ	最大積載重量 kg	全長	全幅	全高				作業速度 km/時	散布幅 m	毎時能力 a/時	散布量 kg/10a	
スパウト	MGL605PN	MGL605P	600	1200	1600	1900	1050	285	標準3点リンクI・II兼用	PTO 駆動 450～500rpm	4～10	粒状 7～12	粒状 170～720	粒状 5～180	33～59 (45～80)
	MGL1205PN	MGL1205P	1200		1650	1950	1350					300	砂状 5～7	砂状 120～420	砂状 10～620
2スピナー	MGL605WN	MGL605W	600	1200	1650	1900	1050	320	標準3点リンクI・II兼用	PTO 駆動 500～540rpm	4～10	粒状 14,18,22	粒状 340～1300	粒状 5～180	44～73.5 (60～100)
	MGL1205WN	MGL1205W	1200		1700	1950	1350					335	砂状 8,10	砂状 190～600	砂状 10～550

*1: GPSレシーバ無型式には他社ガイダンスシステムとのセツソクコード Assy を付属しています。

※散布幅は肥料の性状により変わります。※全高寸法及び重量はスタンドを含んでいません。

※砂状肥料などで下記【 】内の設定を下回る場合、散布量の自動補正が正しく機能しない場合があります。

スパウトタイプ:【作業速度6km/時、散布幅5.5m、散布量40kg/10a】、2スピナータイプ:【作業速度8km/時、散布幅10m、散布20kg/10a】

※本カタログ記載の数値は、実測値またはそれに基づいて計算された値を一般的な代表数値として示したものであり、使用条件などにより異なる場合があります。ご検討の際の目安の数値としてご使用下さい。

※農耕トラクターとのマッチングに限り公道走行に対応しています。

※公道走行に関する詳細は日本農業機械工業会の公道走行ガイドブックをご確認ください。

注意 銧物系資材(鋸さい、鉄、粉碎石灰など)の散布は著しい摩耗が発生するため適応しておりません。



部品番号1648671000:GPSセツソクコードAssy

他社製RTK対応GPSナビゲーション・自動操舵装置と接続し、より精度の高い経路誘導が可能となります。

また、GPS受信機を複数取り付ける必要がなくなり、装着も簡単になります。

※GPS受信機のメーカー、型式により接続できない場合あるいは他社製の変換ケーブルが別途必要になる場合があります。接続に関してはGPS受信機販売会社へお問い合わせください。



部品番号1488550000:肥料流動測定器

肥料20kgを2回に分けて肥料流動測定器に投入し、肥料流動測定値を算出します。自動補正が始まるまでの散布誤差を最小限に抑え散布開始時からより正確な肥料散布が行えます。

オプション部品



安全についてのご注意

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前には、十分に点検・整備をおこなってください。

商品についてのご相談・ご意見は下記へご連絡ください。



ホームページはこちら



安全はIHIアグリテックの願いです。

株式会社IHIアグリテック

〒066-8555 北海道千歳市上長都1061番地2
TEL 0123(26)1123 FAX 0123(26)2412

ホームページアドレス <https://www.ihico.jp/iat/>

*このカタログの写真・仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
2026.03 作成 SU4A028A015

ICTが導く新世代の肥料散布機

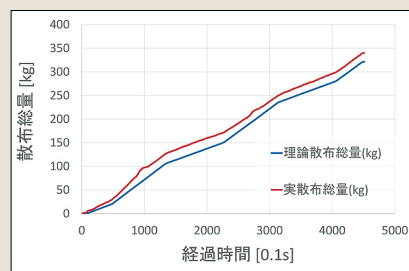
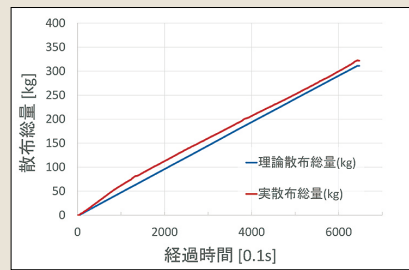
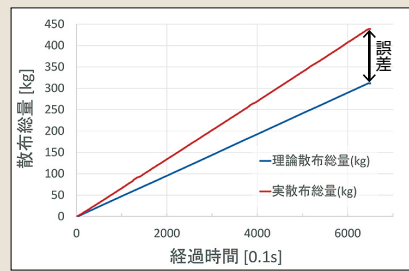
重量計付のメリット

① 散布量の自動補正

従来の散布方式は、肥料性状や機構上の特性により期待した散布量が安定して得られない場合があり、そのまま作業を続けると誤差が累積して肥料の過不足が生じる場合があります。



MGLシリーズは重量計で実際に散布された量を計測しているため、散布量を自動補正し設定した散布量通りの肥料散布が可能です。また、散布量の補正値は次の圃場へ持ち越せます。



② 肥料の積載量を可視化

ナビゲータの画面左下に重量(kg)が表示されるので、肥料がどれくらい残っているのかを確認できます。



可変施肥に対応

可変施肥とは…

肥料を散布する時、生育が良い所は少なく、生育が悪く肥料が必要な所は多くする技術のこと。作物が必要とする量を散布することで、肥料代の節約・生育の均一化といったメリットがあります。

今までの施肥は…

ほ場一筆単位でしか散布量を決めることができなかったため、生育のばらつきに合わせた施肥ができませんでした。



可変施肥では…

ほ場の生育のばらつきに合わせた施肥ができるので、生育の均一化と肥料削減が期待できます。



ほ場の状況に応じた施肥マップを作成

リモートセンシングデータを利用したISO11783-10形式、またはGISツール*で作成したKML形式
★KMLファイルが作成可能なGISツール(2025年6月時点.*印は有償)にはZ-GIS*(JA全農)、ArcGIS Earth(ESRIジャパン)などがあります。

↓ ↓ ↓
USBメモリから、ナビゲータ部へ入力
↓ ↓ ↓
マップ情報に沿って、可変施肥を行います

※本製品は、農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センターが実施する「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業(うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)」により開発されました。
※本製品の可変施肥マップに関する機能には、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「次世代農林水産業創造技術」により開発された技術が使用されています。

ナビゲータには、明るいカラーのモニターが採用されています。



起動画面



直進画面



旋回画面

公道走行対応機材標準装備

灯火器類や反射ラベル、制限標識等を標準装備しています。

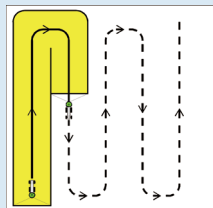


GPS車速連動+経路誘導で簡単作業

「経路誘導ガイドパターン」は2パターン

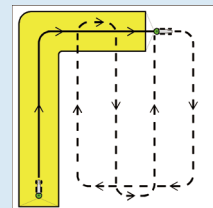
隣接散布パターン

設定した誘導幅へガイドします。



外周&自動均等割散布パターン

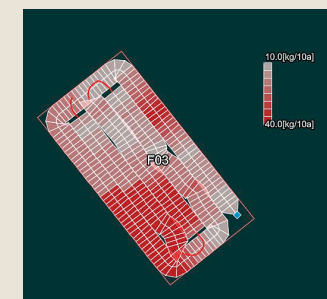
一本目の走行ラインを記憶して、外周散布後に内行程を自動均等割し目標ラインへ誘導します。外周へ差掛かったときやバック走行時は、シャッターが自動で閉まります。



◎肥料がなくなって作業を中断する場合、中断した位置を記憶、再びそこまでの誘導を行う「ブレークリターンシステム」を設けています。

作業記録をUSBメモリに自動保存、作業確認や作業日誌に活用

- 作業履歴と作業ログがUSBメモリに自動保存されます。
- 作業履歴は1日の作業内容を確認できます。
- 作業ログの形式はKMLとCSVから選べます。
- KML形式の作業ログはGISツールを使って確認できます。



作業ログ

----- 作業情報 -----
作業日: 2025年1月1日
開始時刻: 10時31分
終了時刻: 10時45分
作業機: 計量ブロードキャスタ (2スピンナー)
積算散布量 (理論値): 517.8kg
積算散布量 (実測値): 532.7kg
開始時の肥料重量: 612 (kg)
終了時の肥料重量: 80 (kg)
肥料流動測定値: 72秒 -> 64秒
誘導間隔: 2200cm -> 2200cm
散布間隔: 2200cm -> 2200cm
ログファイル名: 250101_F03_001.kml
終了状態: 正常終了 (ナビゲータ操作)

作業履歴